

つた
伝えよう
いのち
命の尊さ
ほとけ
佛の心
こころ

花園会報 東園

平成29年10月1日発行
137号
宗教法人東園寺

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園

お釈迦様の看病

お釈迦様が祇園精舎の境内を
散策されていたときのことです。
一つの坊舎から何やらうめ
き声が聞こえます。お釈迦様は
不審に思い、その坊舎を覗いて
みました。すると一人の僧侶が

自らの糞尿にまみれ苦しみ悶え
ているではありませんか。お釈
迦様はその僧侶に尋ねました。
「お前は何故かように苦しんで
いるのか？どうして誰にも助け
を求めないのか？」と。僧侶は答
えます。「私は行いが悪く、他の
僧侶が病気の時にこれを助けず



制作中の本堂蒔絵

看病をしませんでしたので、誰
も私の世話をしてくれません。」
病僧の話聞くお釈迦様はそれ
ならば私が世話をしてあげよう
とおっしゃって、その僧の患部
を手で摩り病苦が癒えると、身
体を支えて部屋から出し、敷布
を取り替え、お釈迦様自らそ
の僧の身体を拭いてやり、新し
い衣へと着替えさせました。こ
の種のお話はいくつかの經典が
伝え、玄奘三蔵は『大唐西域記』
の中に祇園精舎の東北側にこの
逸話を記念した塔が建立されて
いることを伝えていきます。です
から実際にお釈迦様という方は
意味深い真理を説く以前に、実
に優しいお人柄だったのでしょ
う。この時にお釈迦様が説かれ
た言葉に次のようなものがあり
ます。

「たとい我および過去の諸仏に供養することあらんとも、我に施すところの福德と病を看るとは異なることなし。」

看病をするということは過去の諸仏やお釈迦様に帰依するのと同じくらい修行として素晴らしいことだという意味でしょう。他にも「病人をみるには、われ（お釈迦様）をみるがごとくせよ。」という言葉が伝えられますので、もともとは僧侶たちが互いに看病をしあうことを奨励したもののようです。

仏教という病とは身体的な不調はもちろんですが、行いが粗暴であったり言葉遣いが荒かったりするのも病の一種と考えます。平生に他の僧侶に対しての行いに問題があった僧侶は身体の病氣以前にすでに病であったのです。ですからこの逸話は僧侶に看病を奨励しただけではなく、病僧に対し君は身体の病以前に病を得ていたぞ！しっかり自分自身を見つめ直すのも「看病」であるぞ！との訓戒と理

解することも出来ます。

現実に家族の看病や自分自身の病と向き合うのは大変な苦難であります。しかし、病が重ければ重いほど、日常に何気ない時間がいかに大切なものかを知る機会にもなるものです。さらには看病をしている側の人間は、病の人に接することによって、実は大きな心の支えを得ていることにその看病が終焉を迎えることにより思い知らされます。

諸行無常、すべての存在はその姿形を変えてゆくものであり、永久不変なるものなど無いというのが仏教の根本です。この教えを積極的な志向で活かすことが仏教者の日常であるべきだと感じます。人生に限りがあるからこそ、日々を大切に生きましょう。やがて死すべき命の今ここにあるのは不思議なことであるから、これを支えるすべてに感謝しましょう。こんな当たり前のことを実践することが真の意味での豊かな人生を形成するのです。

今、ご家族の看病をなさっている方、またご自分の病と向き合っている方、そして自身に病を感じていない方も、一日一度は手を合わせ、息をゆっくり吐いて心穏やかな時間をお持ちください。

活婚！寺コン14！ 春開催！

檀信徒関係者の事前申し込みは随時受け付けております。詳しくは東園寺ホームページをご覧ください。

※11月12日開催の寺コン13は男女ともに定員に達しました。

東園寺ホームページはイベント情報や法話のページなど情報がもりだくさん！是非ごらんください。

東園寺ホームページのスクリーンショット。上部には「東園寺」のロゴと「トップページ」「アタリマエ」「東園寺の歴史」のメニューがあります。メインビジュアルは「11月12日 境内部分」のイベント告知です。下部には「坐禅会」の案内（毎月10日、17日、24日の午後7時から7時30分まで、予約不要、会費無料）や「お茶会」の案内（毎月10日、17日、24日の午後2時から3時、予約不要、会費無料）が掲載されています。また、「お茶会」の案内には「お茶会」の案内と「お茶会」の案内が記載されています。

肯山大居士300年遠忌事業報告

塩釜港開港恩人四代藩主肯山大居士(伊達綱村公) 300年遠忌記念事業に対し多くの有志の方々のご協力を頂戴し心より御礼申し上げます。おかげさまで東園寺が主体的に行う事業のすべてに着手、順調に準備作業に当たっております。また先日、伊達家十八代当主伊達泰宗様、肯山大居士菩提寺大年寺様のご了承を



肖像画が改装されました

得て東園寺での300年遠忌

法要が平成30年6月17日午後

5時に厳修されることが決定

致しました。ご協力者の方々

皆様には是非ご予約頂きます

ようお願い申し上げます。以

下に記念事業の成果

を画像にてご報告申

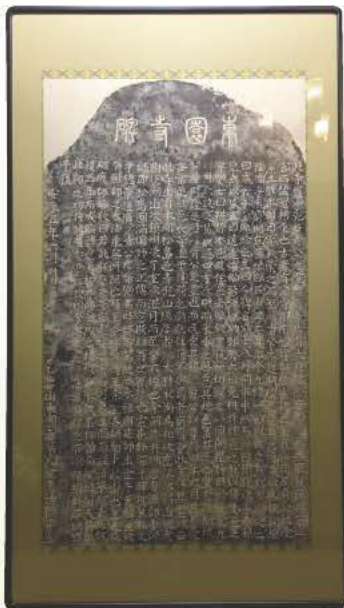
し上げます。

◎本堂内に常時展示

する為に東園寺之碑

拓本の複製品が作製

されました。



東園寺之碑複製

◎綱村公と一関藩

主田村建顕公合

作の軸。軸棒が

細く本紙の割れ

が目立ちました

ので今後の為に改装しました。

(作品説明)

伊達綱村公の和歌が上部に

貼り付けられ、一関藩主田村

建顕公の春雪画が下部に貼り

付けられた作品。

綱村公の和歌は「春霞たてるや

いづこみよし乃、よしの、

山に ゆきはふり津、」

田村建顕公は、一関藩の初

代藩主。明暦二年(一六五六)



綱村公和歌並びに田村建顕公画

五月八日、岩沼藩の初代藩主・宗良の次男として生まれる。政宗公の曾孫。元服の名は宗永。一関初代藩主。学問に秀で將軍・綱吉から厚遇され、外様大名でありながら江戸城奥詰に任ぜられた。





塩釜図屏風（江戸中期 東園寺部分）



塩釜図屏風（江戸中期 東園寺部分）

塩竈松島絵図屏風 狩野興碩筆

塩竈神社から松島五大堂付

近までを描いた屏風。作者の狩野興碩は「江戸時代中期の画家。狩野興益の4男。兄興伯の長男早世のため、兄の養子となり、紀伊和歌山藩の御用絵師をつとめた。宝暦元年死去。」（日本人名辞典より引用）とのこと。興碩の署名には69歳とある。絵の仕上がりから想像するに最盛期の作品だろうか？修繕がなされた際に地名が書き込まれた札が剥がされた形跡が見られる。

本紙縦75cm横267cm

「有陰徳有陽報」 雲居希膺禅師

陰徳有ば、陽報有り。

人間の私語、天の聴くこと雷の如し。暗室の欺心（ぎしん）、神の視ること電の若し。諸悪

莫作衆善奉

把不住軒主

希膺（花押）

瑞巖寺中興開山雲居禅師の法語。

『淮南子』人間訓にある「それ陰徳有る者ものは必ず陽報有あり、陰行有る者は必ず昭名有あり。」から引用した「有陰徳有陽報」を大書し、これに雲居禅師が自らの境涯でコメントを着けた作品です。

雲居禅師の全盛期の墨蹟は禅にちなんだ語句よりも、日常の道德や心のあり方を具体的に説いた内容が多いようです。陰徳は人知れず善を積むこと。陽報は目に見て良いことが起こるという意味です。私たちの言動は誰も見聞きしていないと思っていても天や神にはお見通し！だからこ

そ「諸悪莫作衆善奉行。」を修めるべきであると説いています。

「諸悪莫作衆善奉行」は七仏

通戒偈（諸悪莫作 衆善奉行

自浄其意 是諸仏教」もろも

ろの悪をなさず、もろもろの

良きことを行え、おのれの心

を清らかにするならば、これ

ぞ仏の教えである。）の前二句

で、唐の時代の鳥彙道林（ちよ

うかどうりん）和尚が、白樂天

に「仏道とはなんぞや？」問わ

れて答えた語句として有名で

す。白樂天は和尚の答えに対

し「和尚！そんなことは3歳

の子供でも知っています。」と

いうと和尚は「3歳の子供で

も知っているが8歳の翁でも

実行することは難しい。」と答

えたのだとか。

雲居禪師のお書きになる語

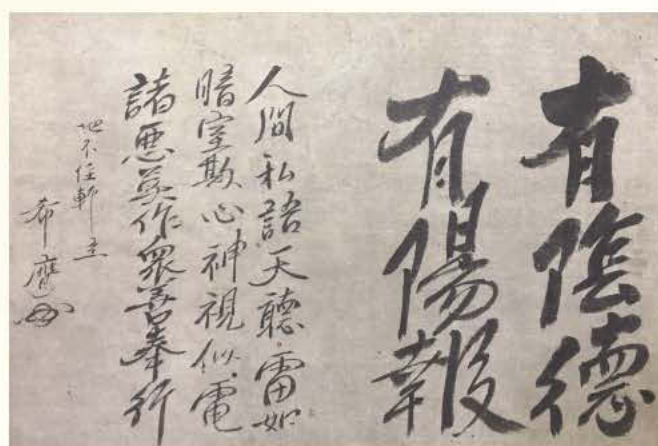
句は道徳的な戒めが多いと申

し上げましたが、当たり前のことを当たり前になすことの難しさは古今を問わぬ命題なのでしよう。

これらの作品は東園寺寺宝

展（12月16日17日午前10時～

午後5時開催）で公開致します。



行事報告



新亡供養



マウイ開教院盂蘭盆会



精霊迎え法要



地藏流し法要



マウイ開教院盆踊り



盆踊り(第二)



種蒔き(第二)



給食(第二)



造形教室(第二)



スポーツクラス(第二)



七夕参観日(第二)



交通安全教室(第二)



遠足(第二)



野菜の収穫(第二)



あそびうたコンサート(第二)



THE ZEN CLUB K&B GYM



東園寺研修センター内にある
スポーツクラブです。
東園寺檀信徒は入会金が免除になります。

お問合せ

利府町加瀬字野中沢 90-1
TEL022-356-7071



幼稚園だより

塩釜中央幼稚園・塩釜第二中央幼稚園



モンゴルのお客様と交流会(中央)



卒園式～手話で保護者に感謝の気持ちを表現します。(中央)



楽天イーグルス・クラッチくん来園(中央)



みんなでコボパークへ！(中央)



サッカー教室(中央)



おわかれ会(中央)



花祭り子供大会(中央)

これからの行事

どなたでもご参加頂けます！是非東園寺にお越しください。

● 不動堂大祭・芋煮会

三味線コンサート開催！



平成29年10月14日(土)午前11時
護摩木500円 お札 お志
奉納幡6,000円
どなたでもご参加頂けます。

● 東園寺寺宝展

12月16日17日午
前10時～午後5
時開催

描かれた故郷
塩竈絵図屏風、

塩竈松島絵図一挙公開！

● 除夜法要

12月31日午後11時40分より

おでん、甘酒、年越しそばの
振る舞いがあります。



● 臨済忌法話会

1月9日午前10時30分

宗祖臨済禅師毎歳忌に併せ住
職が法話を致します。法要、法
話後に軽食をお出しします。
会費300円

● 永代供養

釋子塔 しゃくしとう

納骨供養料 150,000円

檀信徒登録済(年会費5,000円)

の方は100,000円

特徴

* 歴代住職と共同の墓地な
で、家族が絶えても恒久的に
誰かが墓参してくれる。

* 維持費は基本的に不要。(故
人に配偶者が居られる場合
は、配偶者存命の間のみ年間
5,000円の維持費を頂きま
す。)

* 墓地を取得し、墓石を建立す
る費用がかからない



坐禅会

毎週日曜日午前7時より50分間
(坐禅25分、体操10分、坐禅15分)

予約不要、会費無料
東園寺本堂地下教化センターにて

